

2023年7月27日

各位

会社名 シンプレクス株式会社

代表者名 代表取締役社長 金子 英樹

シンプレクス、AI エキスパートによる専門組織

「Generative AI コンピテンシー」を設立

顧客への提供を見据えて、社内でのサービス検証を実施

シンプレクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：金子 英樹、以下シンプレクス）は、生成 AI 研究開発の専門組織として「Generative AI コンピテンシー」を設立しました。

シンプレクスには、ソフトウェアディベロップメント、インフラ、数理工学、プロジェクトマネジメントなどの専門領域の技術者からなる横串組織「コンピテンシー」があり、研究開発や技術研鑽、人材育成を行っています。この度、シンプレクスグループの AI 企業である Deep Percept 株式会社で AI 開発に携わってきた人員を始めとした、当グループが擁する AI エキスパート・数理工学エキスパートによる組織として、Generative AI コンピテンシーを設立しました。

近年、生成 AI 領域は急速に発展しており、GPT（Generative Pre-trained Transformer）などの LLM（Large Language Models：大規模言語モデル）の登場で、機械による言語理解力が飛躍的に向上しました。それにより、フリーワードで機械に指示を出すことや、今まで対応できなかった難しいタスク（文書要約、企画立案、ソースコード生成など）を精度良く解くことが可能になりました。また言語だけでなく画像や音などのデータ理解力も向上しており、フリーワードからロゴ生成、会話音声から議事録作成といった多様なデータ形式をインプットに、さまざまなタスクに対応することができると他社事例でも実証されています。シンプレクスでも、生成 AI を活用することで、業務の大幅な自動化・効率化や新しい UX の提供が可能になると考え、PoC など顧客へのソリューション提供に向けた整備を行ってきました。

Generative AI コンピテンシーでは、これまでの AI 開発の経験を活かしつつ生成 AI 活用ナレッジを蓄積することで、シンプレクスグループの業務効率化や顧客へのナレッジ提供を行います。コンピテンシー設立に先行して、生成 AI の社内利用に向けた、利用ログ監視を含めたセキュリティ面を考慮したシステムの設計、導入、ガイドライン整備は完了しており、LLM API および、チャット用 Web アプリを従業員用に公開しました。今後は自動化・業務効率化に向けて社内でも様々な PoC を実施予定です。PoC ではチャット利用だけでなく、LLM API を開発ツールや各種システムに組み込むことを想定しています。また、セキュリティ対策を含む生成 AI 活用に関わるコンサルティングやシステム開発などのソリューションを、顧客にも提供予定です。

シンプレクスは、顧客のビジネスの成功をゴールに、戦略から設計、開発、運用保守のすべてに責任をもち、一気通貫でトータルソリューションを提供しています。ビジネスとテクノロジーに精通したプロフェッショナルがワンチームとなり、顧客の真のテクノロジーパートナーとして、今後も技術力を磨き続け、顧客の期待を超えるサービス、付加価値の高いソリューションの提供を目指してまいります。

■シンプレクス株式会社について <https://www.simplex.inc/>

シンプレクスは1997年の創業以来、メガバンクや大手総合証券を筆頭に、日本を代表する金融機関のテクノロジーパートナーとしてビジネスを展開してきました。現在では、金融領域で培った豊富なノウハウを活用し、金融以外の領域でもソリューションを展開しています。2019年3月にはAI企業のDeep Percept株式会社、2021年4月には総合コンサルティングファームのXspear Consulting株式会社がグループに加わり、創業時より付加価値の創造に取り組んできたシンプレクスとワンチームとなって、公的機関や金融機関、各業界をリードする企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を支援しています。

ソリューションの導入に関するお問い合わせ

シンプレクス株式会社

Generative AI コンピテンシー 望月

TEL：03-3539-7370 お問い合わせフォーム：<https://www.simplex.inc/contact/>

報道機関からのお問い合わせ

シンプレクス・ホールディングス株式会社

コーポレート・イノベーションディビジョン 広報 瀬川

TEL：03-3539-7370 お問い合わせフォーム：<https://www.simplex.holdings/contact/>